



特別
~13
4152
3



113
4152
3

御入部伽羅女卷之三

目録

新撰方まゝないひら物く方こ小こ判ひ

九 乃中一番真前金取

一 家は招はゆめ酒はな乃
一 ちがも女を侍川場あり
一 ころの山嶽みまゝいん

新撰八月よおまゝ大伝

十 大坂一番由れ智恵男

一 何れともむしりし事
一 ちんちん梅川はあつた
一 春はよき忠男をぞん

アカ

56-4101



兼ねる二冊の年の樂

十一 西國一番れ忠臣

一 兼ねる家老鐵瓶入り
一 緋綿綿を下女が仕合
一 慶のお目よりお後十三文

水室れ二字が一字万合

十二 天生一番れ名言

一 吟味を曆中傳く
一 我子に世話をやれぬ
一 惡不相いとたのじ

御入部伽羅女卷之三

（先） 多損れかい物方小判

挿毛は八幡のまふ仕奉向。神職の者也されば多社
しりも進音煩わす。白きれ清くかよふ。冬前の團子
佐の初運喜する。此蘇に八幡の宮と成り。是八重徳雲
とある。人にて洛陽の南。山と云ふ。くりぬ。清代由もえ
とて。石清水あり。いさだよる。山と現し。けいひり
実久保乃林系も。兼ねる（り）ゆり。男山。高帯。白帯
とりく。なりし。其。換れ。肉小。兼ねる。前。不。思。儀。れ。神。初
と。明。ぬ。り。し。り。侍。守。と。封。し。通。夜。せ。り。人。よ
た。え。ん。と。わ。し。ぬ。い。や。あ。ん。ま。を。是。子。解。寢。せ。り。張

信入 三
 さ。ゆゑに。佐々木方あり。ゆゑに。ささる。新。石。原。に。
 山。なり。大。振。り。神。の。乳。と。く。く。く。の。り。の。り。大。坂。の。り。の。り。
 裏。様。の。り。大。工。の。り。ゆ。め。は。さ。が。ゆ。く。の。り。足。が。の。り。車。の。り。字。
 光。の。り。の。り。織。原。ゆ。め。の。り。の。り。の。り。の。り。の。り。の。り。の。り。の。り。の。り。
 隠。の。り。の。り。の。り。の。り。の。り。の。り。の。り。の。り。の。り。の。り。の。り。の。り。の。り。
 も。ひ。色。い。は。色。の。り。の。り。の。り。の。り。の。り。の。り。の。り。の。り。の。り。の。り。の。り。
 たる。給。指。織。あ。る。れ。ど。も。の。り。の。り。の。り。の。り。の。り。の。り。の。り。の。り。の。り。の。り。
 仕。く。の。り。の。り。の。り。の。り。の。り。の。り。の。り。の。り。の。り。の。り。の。り。の。り。の。り。
 て。は。の。り。の。り。の。り。の。り。の。り。の。り。の。り。の。り。の。り。の。り。の。り。の。り。の。り。
 の。り。の。り。の。り。の。り。の。り。の。り。の。り。の。り。の。り。の。り。の。り。の。り。の。り。の。り。
 の。り。の。り。の。り。の。り。の。り。の。り。の。り。の。り。の。り。の。り。の。り。の。り。の。り。の。り。

小一軒。大。軒。こ。び。の。り。の。り。の。り。の。り。の。り。の。り。の。り。の。り。の。り。の。り。
 糸。屋。の。り。の。り。の。り。の。り。の。り。の。り。の。り。の。り。の。り。の。り。の。り。の。り。の。り。
 女。車。の。り。の。り。の。り。の。り。の。り。の。り。の。り。の。り。の。り。の。り。の。り。の。り。の。り。
 羊。の。り。の。り。の。り。の。り。の。り。の。り。の。り。の。り。の。り。の。り。の。り。の。り。の。り。
 ら。び。焼。物。の。り。の。り。の。り。の。り。の。り。の。り。の。り。の。り。の。り。の。り。の。り。の。り。
 思。へ。の。り。の。り。の。り。の。り。の。り。の。り。の。り。の。り。の。り。の。り。の。り。の。り。の。り。
 徳。分。の。り。の。り。の。り。の。り。の。り。の。り。の。り。の。り。の。り。の。り。の。り。の。り。の。り。
 芥。子。の。り。の。り。の。り。の。り。の。り。の。り。の。り。の。り。の。り。の。り。の。り。の。り。の。り。
 さ。し。の。り。の。り。の。り。の。り。の。り。の。り。の。り。の。り。の。り。の。り。の。り。の。り。の。り。
 せ。一。八。九。支。の。り。の。り。の。り。の。り。の。り。の。り。の。り。の。り。の。り。の。り。の。り。の。り。
 残。と。ほ。り。の。り。の。り。の。り。の。り。の。り。の。り。の。り。の。り。の。り。の。り。の。り。の。り。の。り。



何れの小判より。早屋も紙幣に鉄指。お後をへと
 何れ大判にて。系どくも。小判足知ぬへも。あつ
 何れ小判より。早屋も紙幣に鉄指。お後をへと

第十

飛御は月小お三度大盡

何れ小判より。早屋も紙幣に鉄指。お後をへと
 何れ大判にて。系どくも。小判足知ぬへも。あつ
 何れ小判より。早屋も紙幣に鉄指。お後をへと
 何れ大判にて。系どくも。小判足知ぬへも。あつ
 何れ小判より。早屋も紙幣に鉄指。お後をへと
 何れ大判にて。系どくも。小判足知ぬへも。あつ
 何れ小判より。早屋も紙幣に鉄指。お後をへと
 何れ大判にて。系どくも。小判足知ぬへも。あつ

片断乃入口より人々各別々家内にも大福に金池と
ほりぬ初来乃監撰何事もわらふな半々ないと子
字ハた之大復生まで強いの事社またんめく。このいふ不
師大故藝うな。とくよ古人を巻ると見せし言ふ我
命乃強さを結乃大用は左極の戯言はくと奴たん人
このいふをたむきと。又家内をいふ大さになつては
と強撫といやう。家内あり。家内の嘆が小判を海を賣
み。女帝より比女乃。幅度なとねまの。家内家ゆりハ
詳ふして出候すた。家内乃より。家業ももろの板寄
を場ととも筆本乃固はあつめよゆせえ。字ハもそよは
と。と。これなり。家内家業。家内家業ハ我くは

姿キハ新屋より場海にいつては。海よりく高下乃朋
友乃の。いふは波海。各所と南へ三心ありより。場より
ん。何れも。世乃中より。と。また人々は。なり。いふも
よ何れも。なり。と。各く。不思議は。集々何れありと
後。たり。いふ。男。と。く。と。は。後。なり。環
勢。今。年。乃。喜。ふ。ら。む。川。の。い。新。町。乃。妙。師。録。入。
て。う。の。欠。い。事。お。や。う。不。思。儀。な。家。な。ま。は。家。内。
さ。れ。あ。の。い。は。ら。い。と。後。の。ゆ。ひ。ゆ。も。い。わ。め。く。と
血。を。かく。す。を。猶。乃。反。化。より。い。ひ。な。い。こ。なる。
麻。と。あ。つ。ち。巻。よ。妙。師。の。乃。中。とい。ふ。わ。れ。見。て
と。う。や。ま。い。家。あ。く。も。入。る。ま。い。家。へ。櫃。屋。の

酒を。一。二。三。年。前。小。は。百。貫。目。後。は。さ。ら。ひ。一。
 纏。丸。と。平。丸。と。い。つ。な。う。悪。所。横。雲。も。ゆ。り。が。ぬ。
 世。少。路。は。り。金。し。り。又。社。ら。に。せ。一。が。落。木。を
 乃。神。風。横。子。吹。く。く。ら。も。室。ハ。中。と。百。貫。目。乃。金
 礎。二。三。と。家。雙。と。を。も。い。ま。く。乃。左。風。路。丸。早。丸
 乃。和。居。宅。は。ぐ。あ。り。せ。れ。ら。り。か。り。ま。あ。り。所。
 乃。和。子。店。傍。男。世。者。と。は。り。乃。乃。い。ゆ。は。感。付。か
 申。さ。り。ひ。か。め。ゆ。と。申。さ。り。せ。そ。の。か。ら。不。成。後。床
 とも。花。柳。と。月。よ。お。三。交。去。急。程。を。眼。と。り。つ。も
 和。登。祿。ぬ。高。貴。と。慕。乃。た。祿。ま。つ。た。の。ゆ。は。葉
 一。い。う。道。は。り。乃。ま。よ。入。年。を。い。さ。か。さ。を



御入部三

九

にんげんおとこ。神のつとを頼れば十七人目の世に
胎まふ神なりとも。命眼げぬと。のりまの後はまじり
たぐすこと。や。な。く。人。を。た。も。う。け。か。と。ら。ふ。心。
黄。ぞ。う。く。ら。り。の。い。ま。あ。ん。又。南。比。へ。り。し。我。く。い。
か。ま。は。ま。と。う。と。ま。と。一。同。ゆ。つ。か。ら。む。け。が。あ。ま。つ。
ま。て。佛。乃。う。か。と。ま。目。う。は。お。後。の。い。い。い。
な。で。い。ま。う。つ。な。あ。か。く。く。乃。り。か。ま。い。南。而。り。名。代。
お。む。い。し。な。め。格。あ。ま。う。ま。に。ほ。く。登。再。ま。ま。て。万。倍。
とのおた乃。伊。ま。着。家。を。中。敵。れ。く。何。が。極。も。
お。ろ。理。あ。げ。う。と。つ。な。の。佛。心。法。之。事。此。前。乃。法。事。
新。と。ま。き。れ。が。十七人と。乞。と。ま。不。又。ま。く。

侍 貴方より遠くは。い。は。る。ゆ。い。う。乃。
① 愚をば。下。女。細。端。綿。
笑。中。ら。教。母。極。め。て。法。の。人。之。性。は。ゆ。う。志。う。男。は。愚。え。
系。乃。ま。ま。と。く。根。う。く。六。愚。中。一。は。む。く。う。か。と。ま。い。
して。も。い。う。れ。く。い。ま。伊。勢。法。新。糸。乃。長。江。戸。の。大。方。
限。者。十。九。一。子。家。来。あ。ま。う。つ。も。系。文。乃。片。わ。く。み。
内。々。系。道。琴。所。越。前。屋。乃。ち。衆。つ。と。く。歴。く。の。り。安。幼。
か。う。り。及。女。乃。皆。之。と。紙。乃。乃。在。の。慧。武。郭。和。家。乃。
乃。さ。く。あ。ら。と。う。く。あ。ま。あ。湖。月。と。り。ど。う。新。新。新。新。
を。み。や。げ。お。愈。此。家。来。氏。へ。ひ。く。乃。是。悟。め。く。ゆ。
使。し。も。娘。の。秋。蓮。た。り。ひ。も。な。り。恨。び。強。き。と。し。



あひやくい。志。く。内。乃。居。け。里。の。い。し。と。か。く。
ま。し。一。し。仁。徳。て。は。は。波。の。文。ま。し。
由。し。時。い。ま。ぶ。新。町。地。は。な。し。じ。田。畠。た。り。か。一
と。せ。早。田。を。さ。み。新。敷。の。う。ざ。れ。を。氏。愛。ひ。う。
あ。り。り。て。曾。あ。り。に。は。む。せ。は。ひ。氏。内。太。臣。と。は。
ま。け。う。ま。い。と。す。う。く。べ。し。の。海。は。海。は。時。ま。は。
れ。御。一。う。さ。く。み。穀。中。う。り。り。ぬ。を。龍。神。い。う。と。
あ。多。う。り。氏。愛。ま。な。ま。む。一。あ。申。病。ま。似。り。と。
て。冬。の。氷。と。か。く。ま。ま。交。ま。む。蔵。主。た。ま。よ。し。を。
氷。室。と。名。付。ぬ。月。の。比。け。氷。室。と。か。一。新。敷。の。田。畠。
病。の。と。く。打。た。ま。し。細。と。結。と。葉。む。り。男。ま。い。め。

て。た。敷。の。の。物。と。振。り。て。龍。神。の。女。と。を。龍。王。氷。室。と。
と。か。く。と。と。と。あ。り。ぬ。忽。ち。多。く。み。穀。と。ま。し。と。の。あ。
乞。世。傳。代。り。い。ま。り。神。て。を。敷。と。の。物。百。姓。よ。お。せ。氏。
内。太。臣。氷。室。と。病。の。う。け。お。り。ぬ。申。病。の。う。ざ。れ。を。氏。
名。付。ぬ。貫。主。と。を。敷。と。名。付。ぬ。り。て。曾。在。位。八。十。二。
年。う。ふ。か。の。田。畠。と。あ。り。と。久。松。君。れ。と。し。ひ。ゆ。あ。り。
い。所。と。り。後。と。今。に。久。き。新。所。を。な。り。一。年。世。之。
け。里。内。を。め。た。乃。内。心。月。神。愛。に。
神。ひ。ち。と。ひ。と。ひ。と。氷。室。と。春。を。さ。り。乃。風。や。と。ら。ん。
あ。ふ。あ。り。る。ま。や。し。
氷。室。と。の。名。付。ぬ。下。も。名。の。後。し。い。う。く。も。う。さ。

かきしれ^し家^かを^ここ^りめ^きれ^しや^しせ^きを^揚久^くら^うく
し^し多^とく^くら^うさ^せし^しけ^けべ^べかり^りそ^めな^なく^くぬ^ぬ其^其地^地
我^我げ^げな^なし^しと^とめ^めて^ての^の花^花骨^骨あ^あ愛^愛え^えど^どま^まま^まら^らく^くや^や味^味ド
と^とす^す里^里な^なれ^れも^もそ^そ彩^彩所^所あ^あく^くか^か減^減が^がえ^えて^てし^しど^どま^ま
も^もか^かや^やあ^あし^しら^らく^くし^しあ^あ時^時事^事社^社つ^つま^まは^は思^思と^とら^らへ^へよ
は^はれ^れと^とは^はよ^よ自^自神^神被^被る^ると^と新^新所^所ら^らる^ると^とは^はし^しし^しや^や味^味ド
が^が三^三版^版り^りし^しも^もれ^れは^はし^しひ^ひな^なし^しら^らど^どや^やら^らハ^ハり^り味^味ド
ま^まじ^じし^しの^のを^をし^しひ^ひけ^けら^らら^らく^くぬ^ぬと^とら^らぬ^ぬか^かい^いい
な^なれ^れは^はは^は合^合あ^あふ^ふ日^日又^又の^の京^京若^若く^くハ^ハら^らく^くり^りと^と興^興よ
免^免さ^さし^しら^らる^るら^らり^りた^たの^のと^とは^は係^係久^久た^たは^はあ^あく^く乃^乃は
強^強を^をく^くよ^よ交^交と^とく^くし^しあ^あり^りか^かと^とん^んら^らく^くあ^あら^らく^く

つねに^つぬ^ぬ我^我神^神實^實あ^あら^らく^く思^思業^業あ^あら^らく^くし^し今^今下^下の^の
ら^らく^くし^しか^かけ^けし^しし^しら^らく^くし^しあ^あら^らく^くし^し今^今下^下の^の
ち^ち代^代傳^傳る^る様^様ま^まく^くも^も領^領城^城賞^賞乃^乃可^可と^とま^まし^し一^一か^かが^がん
と^とら^らん^んと^とれ^れも^もく^くを^をも^も方^方の^の傳^傳ま^ま賢^賢才^才一^一と^と折^折て^て方^方と
知^知ま^まし^しと^と同^同が^がの^の味^味家^家乃^乃由^由來^來新^新所^所乃^乃い^いし^しれ^れを^を下^下
に^にし^しら^らく^くま^まぬ^ぬま^まら^らく^くし^しし^しと^とま^まら^らく^く二^二階^階あ^あら^らく^くく^く
な^なら^らく^く事^事物^物も^も考^考へ^へし^し一^一極^極立^立月^月日^日の^の目^目出^出夜^夜と^と味^味
あ^あら^らく^くし^しの^の傳^傳思^思く^くし^し極^極あ^あら^らく^くし^し傳^傳思^思の^のま^まら^らし^し
中^中の^の智^智者^者二^二人^人乃^乃男^男女^女大^大く^くく^くま^まら^らく^くし^しあ^あら^らく^くし^し
ま^まら^らく^くし^しけ^けし^し八^八目^目と^と右^右三^三度^度乃^乃弁^弁待^待分^分宿^宿候^候を^を
易^易乃^乃及^及長^長ド^ド天^天地^地乃^乃更^更と^と比^比林^林の^の内^内三^三寸^寸乃^乃右^右と^と

海くくを能乃事事籍吟味りとととに唐む万年
 層と窺ひ刀ふに納くわ政ハ妻をのたと子一婦
 ぞと世日はくもも家内戚七の方も用くあかき言
 めく婚むりも中をなりあどく大福まどはどろ
 とあろ海くく行り日文史書に色初め諸方
 けくことふけは天後あくと命三浦の大目日
 とくことくや家書さここりりくくはゆらぐぞ
 やさんいごうとく枕語とく天皇の御ゆくは和約俗
 諸中し時女存介もね遠隔も史書の内くあり
 けかたくとくもさささささ同ト禁行りくあ漏下の矣
 名あくはくしとせせとねねとくわくしと中核編く味

海くくを能乃事事籍吟味りとととに唐む万年
 層と窺ひ刀ふに納くわ政ハ妻をのたと子一婦
 ぞと世日はくもも家内戚七の方も用くあかき言
 めく婚むりも中をなりあどく大福まどはどろ
 とあろ海くく行り日文史書に色初め諸方
 けくことくや家書さここりりくくはゆらぐぞ
 やさんいごうとく枕語とく天皇の御ゆくは和約俗
 諸中し時女存介もね遠隔も史書の内くあり
 けかたくとくもささささ同ト禁行りくあ漏下の矣
 名あくはくしとせせとねねとくわくしと中核編く味

